

1 組織概要

- 貧困や格差、気候変動といった不公正に終止符を打つことを目的とする国連の主要機関。
- 1965年、国連総会決議により設立。本部はニューヨーク。世界170か国・地域で活動。
- 総裁はアレクサンダー・ドゥ=クロー氏（2025年12月就任）。

2 活動内容

- 開発が進み、人々がより良い生活を送ることができるよう、各国政府に対して政策提言、技術支援、資金提供、支援プログラムなどを組み合わせ、それぞれの国にあった包括的な解決策を提示。
- 代表的な活動分野・内容は以下のとおり。
 - ①貧困の根絶：職業訓練や雇用創出、起業のための資金提供
 - ②国家の仕組みの整備：法整備や公正な選挙の実施、警察官の育成
 - ③危機対応力強化：紛争・災害からの早期復興支援、防災、気候変動対策、コミュニティ間の対話促進
 - ④環境保全：野生動物や森林、海洋、河川の保護、持続可能な農林水産業、観光業の基盤構築
 - ⑤クリーンエネルギーの普及：太陽光発電など持続可能で安価かつクリーンなエネルギー源の普及
 - ⑥ジェンダー平等：女性や女の子たちの権利を守るため差別的な法律や政策の撤廃に向けた働きかけ

3 日本との関係

- 対ウクライナ支援、中東・北アフリカの安定化支援、アフリカの人道・開発支援、アフガニスタン支援など、UNDPを通じた支援は二国間の支援を補完する重要な手段。
- 我が国が主導するアフリカ開発会議（TICAD）を長年共催。
- 日本の開発協力の基本方針である人間の安全保障の主流化と、現場での実践を促進。